

TOP INTERVIEW

## 株式会社 三栄製作所

仕事の焦点を「お客様の為」に合わせ、  
世界一のエレベーターマシンメーカーを目指す！

Think<sub>x</sub>Act

## デンドリマー固定化触媒の 化学プロセスにおける有用性

産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター 主任研究員 藤田 賢一



## 株式会社ハセベ つくば工場

都市型住宅の理想実現に向け顧客満足を徹底追求



8

2014 August

ウェルカム  
茨城

Welcome Ibaraki

# 株式会社ハセベ つくば工場

## 町工場から住宅メーカーへ発展

ハセベは、1946年（昭和21年）、創業者である長谷部尅彦氏（現会長）により、東京都荒川区町屋でマッチの軸を製造する町工場としてスタートしました。1959年（昭和34年）に株式会社長谷部商店を設立し、住宅資材の専門問屋として発展してきました。

その後、木造住宅事業に着手し、1993年（平成5年）に株式会社ハセベ（現社名）へと商号を変更、荒川区、台東区など都内城東地区を中心として事業を営んでいます。現在、注文住宅や分譲住宅を中心に、年間およそ100棟を建築している他、太陽光発電事業、不動産売買、ホテル事業等、幅広く事業を展開しています。

当社は、住宅引き渡し後、3回にわたって無償定期点検を実施するなど、建築するだけでなく住む方と一緒に家を守り続けるサービスにも力を入れております。このような住む方と同じ目線のサービスは、既存顧客から好評を受けるだけでなく、新たな顧客を紹介していただけるといった好循環を生み出しています。これは、「利益至上主義」ではなく、「顧客満足の追求」を創業期から当社の理念として掲げ、活動してきたことの成果として挙げられます。

## 高い耐震性を兼ね備えた 当社独自開発の木造3階建住宅

当社が本社を置く荒川区は、都市の特徴とも言える住宅が密集している地域であり、土地価格の影響もあって、1棟当たりの建築面積は限られています。その限定された土地に広い居住スペースを確保したいと

## 都市型住宅の理想実現に向け 顧客満足を徹底追求



専務取締役 山井 宏友 氏

の要望に応えるため、当初から木造3階建てに取り組むと同時に『プラスワン工法』の開発を行いました。

1993年（平成9年）に、(財)日本住宅・木材技術センターより「軸組木造住宅の合理化した生産供給システム」を対象とした合理化住宅工法認定を取得し、さらに2012年（平成24年）には、同センターより新しい合理化システム認定を受けるなど、技術を積み上げてきました。

『プラスワン工法』は、柱・梁の伝統的軸組工法を基本としながら、床・壁・屋根までを全てパネル化したことが特徴で、軸組工法が持つ設計の自由度と、耐震パネルの強度を併せ持った建築工法です。『プラスワン工法』は、木造3階建の構造基準をクリアし、かつ工期の大幅短縮も可能にしました。

3階建ての木造住宅は、高い水準の構造設計が求められますが、当社では外注に依存するのではなく、設計・施工・監理全てを内製化し、一貫体制を確立することで個別設計による少量多品種の注文住宅を可能にし、他ハウスメーカーとの差別化に成功しました。今や当社が請け負う住宅の95%以上は3階建であり、『プラスワン工法』は当社の代名詞となっています。

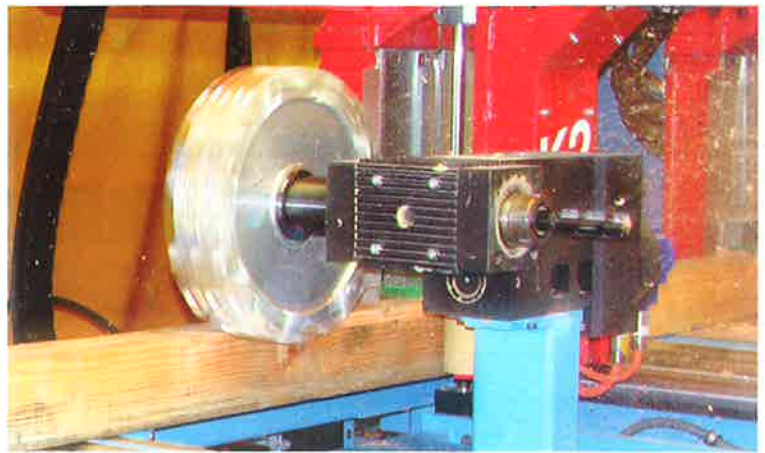
当社では、現場主義の徹底により、現場での発見や創意工夫がすぐに活かされる体制となっています。住宅建築部材の現場搬入においても、都市ならではの厳しい道路事情に対応しながら、現場での作業に合わせて搬入する体制を作り上げて来ました。

また、都心部の耐火地域における木造住宅建築問題を解決するため、「木造耐火住宅研究会」を発足し、国土交通大臣に「木造耐火住宅に関する法整備についての要望書」を提出する等、木造住宅建設の古い規制の殻を打ち破ろうと積極的な活動も展開し、ついに木





建設中のプラスワン工法住宅



高精度のプレカット製造

造耐火の告示化につなげました。このような活動と、建築経験・実績の蓄積が実を結び、当社独自開発の木造3階建て合理化工法『プラスワン工法』は常に進化し続けています。

## 高品質プレカット・パネルの供給を可能にした“つくば工場”

2007年（平成19年）、つくばみらい市にプレカット・パネルの拠点として、株式会社ハセベつくば工場が設立されました。

つくば工場ができる以前は、それぞれ別工場に発注されたプレカット・パネルが別々に建築現場に届いたため、長時間待機する場面があり、搬送トラックが交通を妨げることもありました。

そこで、つくば工場1社でプレカット・パネル両方を加工して、建築現場での作業に合わせた積み込み、現場近くでの積み替えにも配慮した出荷体制にしました。

また、加工データについてもCAD/CAMシステムの連携に取り組みました。それにより、本社で設計したCADデータを、つくば工場で共有、互換性を持たせることができました。

さらに、高性能なドイツ製の万能木材加工機「フンデガー」を設置しました。つくば工場でCAM化した加工データと万能木材加工機をフル活用することで、高精度プレカット製造が可能になりました。プレカットには、接合金物を入れる切れ目（スリット）やボルトの穴あけ等、様々な加工作業が必要ですが、これらの工程を1台の万能木材加工機で対応することで、製造コストを抑えることができました。

このように、つくば工場では1mmの精度にこだわった高品質なパネルを供給しており、当社における一貫体制の一翼を担っています。

### ※CAD/CAM

設計からNCデータ（工作機械への作業指示）の作成までを、全て同じシステム内で行うことができるシステムのこと。また、取引先から支給されたCADデータ（パソコンの画面上で図面を作成するためのソフトウェア）を読み込んだ後、加工する内容にあわせて形状を編集するといった作業も可能。

## 理想の実現に向けて

日本は、住宅関連業界には厳しいと言われる「少子高齢化の時代」に突入しています。それにともない、住宅に関するニーズも刻々と変化しています。今後も当社では「お客様の求めるものは何か」、「それに対して当社では何ができるか」を常に考え、事業を展開していきたいとしています。

つくば工場で作られるプレカット・パネルは、高い品質が市場から評価され、最近では住宅以外にも福祉施設やコミュニティ施設、学校等の部材として注目されています。首都圏では数少ないプレカット・パネル工場としてまちづくりに寄与されることが期待されます。

さらに、当社は建築技術を活かして、茨城県稲敷市や千葉県市原市にメガソーラー施設を建設し、太陽光発電事業も開始しました。環境に配慮した事業も展開することで、当社は「顧客満足の追求」という理想の実現を遂げるとともに、地域になくてはならない企業へと発展していくことでしょう。

### 会社概要

所在地	(本社) 東京都荒川区西日暮里 5-27-5 (つくば工場) 茨城県常総市つくばみらい市古川 81
業種	木造住宅設計・建築、木材パネル加工
従業員数	50名
代表取締役社長	長谷部 忠彦
連絡先	(本社) 03-3802-8711 (つくば工場) 0297-57-6577
URL	<a href="http://www.hasebe.com/">http://www.hasebe.com/</a>

# 常陽産研 NEWS



常陽産業研究所

Joyo Group

JIR 常陽産研ニュース (第286号) 平成26年8月1日発行 毎月1回1日発行

発行所 株式会社 常陽産業研究所 〒310-0011 水戸市三の丸1-5-18 (常陽郷土会館4階) 電話029 (233) 6731 (代表)

ホームページアドレス <http://www.jir-web.co.jp> E-mail:[jir-webmanager@joyonet.co.jp](mailto:jir-webmanager@joyonet.co.jp)